

日本共産党演説会演説大要（2019年8月9日）

猛暑の中、日本共産党演説会にご参加いただき、本当にありがとうございます。日本共産党の県議会議員・県議候補の斉藤信でございます。

今日は、参院選挙で劇的な逆転勝利を勝ち取った野党統一候補の横沢高德さんにも、駆け付けていただきました。激励をいただき心から感謝申し上げます。達増拓也県知事は、日本共産党演説会には初登場ですが、知事選・県議選をたたかう同志として心から歓迎いたします。ありがとうございます。

参議院選挙での野党統一候補、横沢高德さんの勝利を確信に、連続的な市長選・市議選、県知事選と県議選をたたかい、必ず勝ち抜く決意です。これまで以上の皆様のご支援を心からお願い申し上げます。

今回の県知事選挙・県議会議員選挙は、かつてなく重要な選挙です。達増知事が自ら知事選挙を野党共闘でたたかうと表明しての選挙です。市民と野党の共闘こそ安倍暴走政治を打ち破る力があります。野党共闘で知事選をたたかうという達増知事の決意は、安倍暴走政治と対決して、県民の暮らし・幸福を守る県政を進める決意の表れです。

知事選挙の対決構図は、復興・くらしで頑張ってきた達増県政を継続・発展させるのか、国の悪政の持ち込みを許し、県民に冷たい県政にするのかが問われる選挙です。岩手の市民と野党の共闘をさらに前進させ、知事選挙で自民・公明・いわて県民クラブの連合に必ず圧勝しようではありませんか。

同時に、今回の知事選挙と県議会議員選挙は、日本共産党岩手県委員会と達増知事が政策協定を締結してたたかう選挙であります。政策協定の中身は、私のホームページで紹介しています。4つの柱、14項目の政策です。達増知事は「政策協定の中には、県政でまだ取り組んでいない課題も含めて、わが意を得たりです」と政策協定に調印しました。知事選・県議選のチラシはかつてなく迫力のあるものとなりましたが、ここでお示ししている公約は、今までになく実現の可能性と根拠のあるものとなりました。

戦後日本の最大の災害となった東日本大震災津波からの復興では、達増県政は憲法13条の立場にたって、「被災者一人一人の幸福追求権を保障する」ことを復興の基本方針に掲げ、被災者の医療費・介護保険利用料等の免除を、今年も含め9年連続で継続実施しています。政策協定では、来年も継続実施することに合意しました。

くらしの課題では、高すぎる国保税の引き下げについて、全国知事会が要求する公費 1 兆円の投入で協会けんぽ並みに引き下げること。宮古市が今年度から実施した子どもの均等割の免除・軽減を盛岡市をはじめ県内市町村に広げることについても合意しました。盛岡市の均等割は一人当たり 28200 円です。子ども 2 人なら 56400 円の減税となります。ぜひ実現させる選挙にしましょう。

子育て支援では、子どもの医療費助成の窓口無料化を 16 年 8 月から就学前まで実施し、今年の 8 月から小学校卒業まで拡充しました。さらに中学校まで拡充することも政策協定で合意しました。雇用の確保と産業振興の課題では、高校卒の県内就職率 84.5%に抜本的に引き上げる目標を掲げ、県内中小企業の雇用確保に取り組むことで合意しました。

教育の課題では、35 人学級の実現へこの間毎年拡充し、今年度から小学校・中学校全学年で実施されました。政策協定では、「国、県、市町村によるテストづけの教育のあり方を見直し、一人一人の子どもにゆきとどいた教育を進めること」で合意しました。

皆さん、知事との画期的な政策協定の一部を紹介しましたが、私が提案している公約は、達増県政をさらに前に進める根拠のある公約になっているのではないのでしょうか。

前回の県議選で 3 人に躍進した日本共産党は、達増県政の推進力として大きな役割を果たしてきたのではないのでしょうか。

達増県政を県民の立場、被災者の立場にたって、さらに前に進めるために、達増知事候補の勝利、圧勝を必ず勝ち取りましょう。

県議選盛岡選挙区の情勢は、定数 10 に対し新人 5 人を含めて 13 人が立候補するかつてない激戦です。5 人の市議候補と力を合わせ、必ず勝ち抜く決意です。皆さんのこれまで以上のご支援を心からお願いし、私の決意といたします。よろしく願いいたします。